

Biacore™ Insight Software ver. 6.0

アップグレード手順

1. 概要

本資料は、Biacore™ Insight Software をご購入いただいたお客様ご自身で、v6.0 へアップグレードを実施いただく場合の手順書です。Biacore™ 1 シリーズ、Biacore™ 8 シリーズ、Biacore™ T200 (v2 以降)、Biacore™ S200 と接続された PC で Biacore™ Insight Software を運用したい方や、解析専用の PC を別に用意する方が参考にする資料となります。

この操作は基本的に全てのユーザー様に推奨されますが、GxP extension をご利用のお客様で CCP の発行をご希望の方は、必ず弊社まで事前にお問合せください。

2. v5 から v6 での変更点

主な新機能

- 1) Biacore Intelligent Analysis™ Software の活用範囲が広がり、フラグメントだけでなく、低分子化合物のスクリーニングおよびアフィニティー解析に対応します。
- 2) Biacore™ Insight Data Integration Extension を用いることで、Application Programming Interface (API)を介して Run data や Evaluated data の自動転送が可能となります。

新機能

Insight Control software

- 1) **Method builder**、**Immobilization**、**Interactive run** 入力できる Solution 名が 50 文字に拡張、統一されました。
- 2) サンプル情報のインポート時に列の自動マッピングが導入されました。Excel などのソースマテリアルのヘッダー行の内容に基づいて、メソッドに対応する Variables へと自動的にマッピングします。
- 3) 固定化や測定のメソッドにおけるプレートレイアウト（ポジション、溶液名、容量、そのほか変数）の情報を TXT ファイルに出力でき、自動分注器への情報入力をサポートします。
- 4) ポジションエラーに対する処理が改善し、エラーの原因や解決策をより具体的に示します。

Insight Evaluation software

- 1) 主に Affinity data を評価するとき、大規模な evaluations を開くとき、そして、Remove range や curve markers を処理するときのパフォーマンスが改善されました。
- 2) すべての Evaluation items における Table の列に Run name (測定データ名) を含めることができます。
- 3) Kinetics/Affinity と Sensorgram アイテムの Remove ranges において Undo 機能が付きました。Undo は regulated procedure で作成されたアイテムにおいて audit trail にログが残ります。
- 4) Kinetics/Affinity アイテムの Result table に、新しく fit mode (global/local/constant) や各パラメーターの initial value のカラムが追加できます。Result table に追加したカラムは Excel、pdf、ppt、更に API を介したエクスポートに含まれます。
- 5) 各 **Plot** にマウスオーバーすると、Y 軸値が表示されます。

Biacore Intelligent Analysis

- 1) Biacore Intelligent Analysis の新しいモデルでは、フラグメント化合物のように速やかに解離するバインダーだけでなく、平衡状態に達するあらゆるデータに対応します。さらに、適切な Affinity range position を自動で選択し、そこからフィッティング用のレスポンス値を採用します。
- 2) 新規に作成するモデルに対して、Classification names や Classification purposes を編集することができ、より柔軟に解析が可能です。
- 3) Binding level screen において、測定時にポジティブコントロールが無くても super stoichiometry の予測をサポートします。

API

- 1) Biacore™ Insight Data Integration Extension を用いることで、Application Programming Interface (API)を介して Run data や Evaluated data の自動転送が可能となります。

Epitope Binning

- 1) エピトープビンニングに Self-self subtraction が導入されました。同じ第 1 抗体と第 2 抗体を持つセンサーグラムを、その抗体を第 1 抗体として持つセンサーグラムから減算できます。これにより、第 2 抗体の結合レスポンスのランキングが容易になります。

GxP、Published procedures

- 1) Biacore 1 シリーズの published procedures において、フローセルの選択がより柔軟になりました。例えば、procedure developer が flow cell pair (1, 2) で procedures を作成した場合、flow cell selection を unlocked にしておくと、procedure 実行時に flow cell pairs (1, 2)、(3, 4)、(5, 6)の選択が可能となります。

Inject and elute

- 1) Biacore 1K+および Biacore 1S+において **Inject and elute** (アナライト回収機能) コマンドが選択できます。
- 2) Biacore Insight Evaluation software を用いて **Inject and elute** コマンドを使用した Biacore 1K+および Biacore 1S+の測定データについて **Sensorgram** や **Plot** のアイテムによる評価ができます。**Inject and recover** コマンドを使用した Biacore T200 測定データについても同様です。

3. 手順

1. 概要	1
2. v5 から v6 での変更点	1
主な新機能.....	1
新機能.....	1
3. 手順.....	4
4. アップグレードを始める前に.....	5
① Version に応じたアップグレード内容の確認.....	5
② バックアップ.....	5
③ Physical address (MAC address)とサーバ名のメモ	5
④ Activation ID の確認.....	6
5. ライセンスリホストのリクエスト.....	8
6. ソフトウェア一式のダウンロード.....	9
7. Database のアップグレード.....	12
【無償版 SQL Express をご利用の方】	12
【ネットワークサーバをご利用の方】	12
8. eLicensing manager のアンインストール.....	14
9. eLicensing Manager のインストールおよびライセンスのアクティベーション	15
10. ソフトウェアのインストール	17
11. Biacore™ Insight Evaluation Software の Database への接続および起動.....	18

4. アップグレードを始める前に

① Version に応じたアップグレード内容の確認

既にインストールされている Insight software の Version によってアップグレード内容が変わります。

現在の Version	Insight Database のアップグレード	License server のアップグレード	ライセンスのリホスト
3.0.x 以下	必要*	必要	必要
4.0.x	必要	不要	不要
5.0.x	必要	不要	不要

* Version3.0.x 以下の場合、Local database を直接アップデートすることができません。詳細は *Biacore Insight Database Installation and Management Guide 2928724* を参照いただき、ご不明点はお問い合わせください。

② バックアップ

アップグレードの前にデータベースのバックアップを推奨します。データベースのバックアップ方法は、こちらの記事後半の「データベースのバックアップについて」をご参照ください。

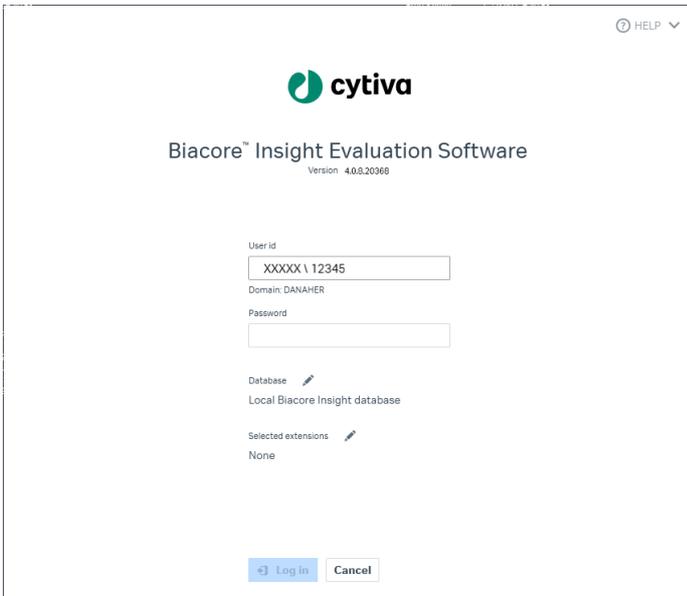
[Tips・FAQs - GxP 特集 2 : アカウント設定やデータの保存について](#)

③ Physical address (MAC address)とサーバ名のメモ

装置本体に接続された PC にて、Windows のホーム画面で左下の Windows マークをクリックした後、cmd と入力し（検索ウィンドウが現れていなくとも問題ありませんのでそのまま入力してください）ipconfig/all と入力し Enter キーを押してください。ここで見られる Physical address (MAC address)は後に確認のために利用しますのでメモしておいてください。

また、Insight Software を立ち上げて User id や Domain について、および Database と Selected extension の横の鉛筆マークをクリックしてそれぞれの画面で現れる情報をメモしておいてください。アップグレード完了後に Insight Software を起動する際に用います。

メモが終わったら Insight Software 自体は cancel にてクローズしてください。



④ Activation ID の確認

Activation ID は弊社からのメールに記載されています。Extension も購入されている場合、複数の Activation ID がありますが、ソフトウェアのダウンロードはいずれの Activation ID でも構いません。Activation ID は Biacore™の機器管理者に届いているメールに記載されています。

メールタイトル：「【重要】ソフトウェアライセンス製品のお届け (Cytiva) SO#XXXXX」

※導入時期によって別の表記となっていることもございます。下線の「ソフトウェアライセンス製品のお届け」の部分で検索していただくとも良いかもしれません。

Activation ID は複数のメールで届いている可能性があります。全ての Activation ID が必要になりますので、A)、B)、C)どちらも必ずご確認ください。

A) Biacore™ 1 シリーズ、Biacore™ 8 シリーズ をご購入いただいたタイミング

Biacore™ 1 シリーズでは Biacore Insight のみ、Biacore™ 8 シリーズでは Biacore Insight および Biacore Insight Extended Screen が 2 ライセンスずつ記載された Activation ID が発行されています。同時に C)で表記されている Extension も購入されている場合、同じメール内にそれらのライセンスの Activation ID も記載されていることがあります。

B) Biacore Insight Software 単体でご購入いただいたタイミング

Biacore™ T200/S200 をご利用の方で Insight Software をご購入いただいた場合や、追加で Insight Software を購入いただいた場合、ライセンス数に応じた Activation ID が発行されています。同時に C)で表記されている Extension も購入されている場合、同じメール内にそれらのライセンスの Activation ID も記載されていることがあります。

C) 追加で Extension をご購入いただいたタイミング

Concentration & Potency、Epitope Binning、Data Integration、GxP、Intelligent Analysis Software といった Extension を別途ご購入いただいた場合は別のメールで届いています。

5. ライセンスリホストのリクエスト

Version 3.x 以前からアップグレードしていただく方は、新しいライセンスファイルが必要です。

Version 4.x 以降の方は 6 へ進みます。

弊社まで、E メールでライセンスリホストをご依頼ください。

【宛先】tech-jp@cytiva.com

【件名】Biacore™ライセンスリホスト

メール本文に、以下の内容をご記載ください。

- ・ ご所属、お名前
- ・ ご連絡先（E メールアドレス、電話番号）
- ・ Activation ID（ソフトウェアライセンスご購入時メールが届きます）
※Activation ID はご不明であれば弊社にてお調べいたしますのでその旨ご記入ください。

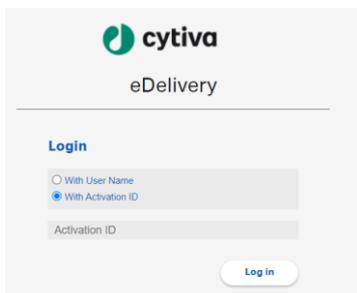
弊社より、通常 5 営業日以内に Ver.6.0 用のライセンスファイル (.lic) をご返信します。

6. ソフトウェア式のダウンロード

以下リンクより eDelivery Portal (Flex net) にアクセスをします。この作業はインターネットに接続された PC から実施します。必ずしもソフトウェアをインストールする PC で実施する必要はありません。

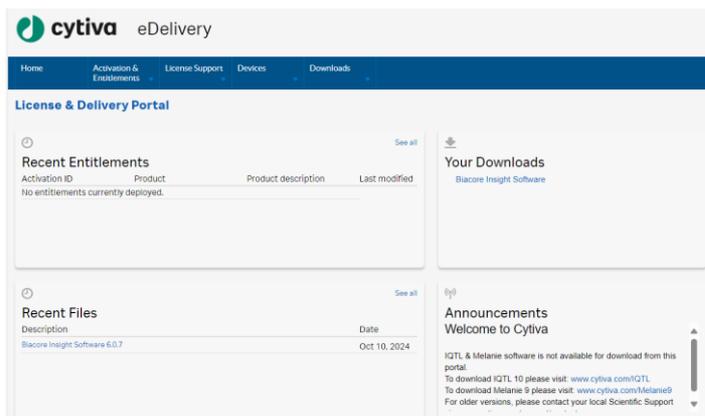
<https://cytiva.com/eDelivery>

1. Login 画面が表示されたら、With Activation ID を選択します。

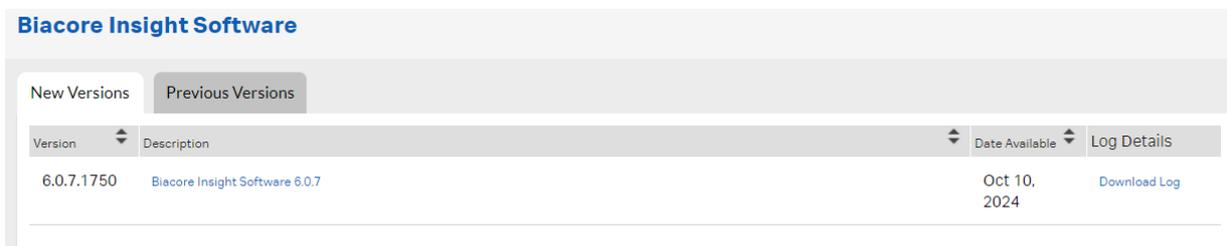


2. お持ちの Activation ID うちどれか一つを入力し、Log in ボタンをクリックします。Activation ID の確認方法は 4 ページ目をご確認ください。

3. Your Downloads 内の該当のソフトウェアをクリックします。



4. 選択したソフトウェアのダウンロード可能なバージョンが表示されます。Description から Biacore™ Insight Software 6.0.7 をクリックします。



Version	Description	Date Available	Log Details
6.0.7.1750	Biacore Insight Software 6.0.7	Oct 10, 2024	Download Log

5. 右の File name より、Biacore Insight Software 6.0.7.zip をダウンロードします。

Biacore Insight Software 6.0.7 6.0.7.1750

Please Download the ZIP-file and follow the Biacore Insight Software Installation and Upgrade Instructions.

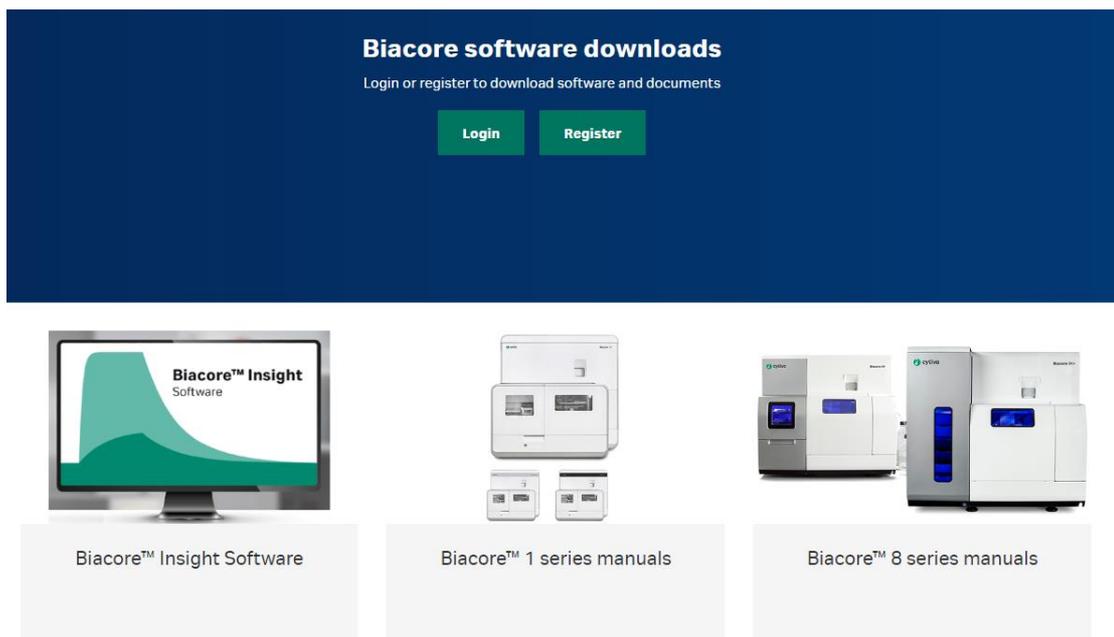
Files Download Log Notification Log

[Download Selected Files](#) 1 File(s)

<input type="checkbox"/> +	File Description	File Size	File Added	File Name
<input type="checkbox"/> +	Biacore Insight Software 6.0.7	492.54MB	Oct 10, 2024	↓ Biacore Insight Software 6.0.7.zip

* 上記 eDelivery Portal のほか、Biacore™ software downloads サイトより、Biacore™ Insight Software をダウンロードしていただくことも可能です。はじめに Register からアカウントを作成して Login していただく必要があります。

<https://www.cytivalifesciences.com/support/software/biacore-downloads>



ダウンロードした以下の ZIP フォルダ内の各種ソフトウェア、英語版のリリースノートおよびマニュアル PDF が格納されています。

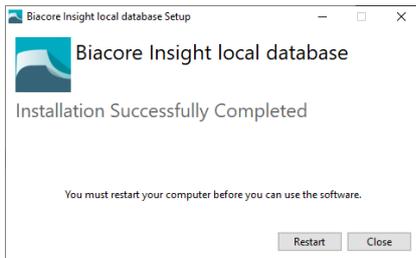
- Biacore Insight Control Software Setup 6.0.7.1750.exe
- Biacore Insight Evaluation Software Setup 6.0.7.1750.exe
- Cytiva Software Licensing Server フォルダ
 - Cytiva Software Licensing Server Setup.exe
- Biacore Insight Database フォルダ
 - Biacore Insight Local Database 2.3.1.21.exe
 - Biacore Insight Network Database Script 2.3.1.21.sql

7. Database のアップグレード

ダウンロードした各種ソフトウェアのうち、Database をアップグレードします。

【無償版 SQL Express をご利用の方】

Biacore Insight Local Database 2.3.1.21.exe を実行しアップグレードします。その後、指示に従い PC を再起動してください。



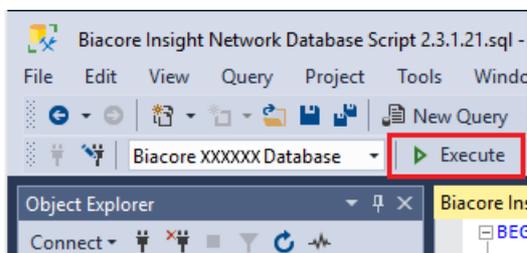
【ネットワークサーバをご利用の方】

ネットワークサーバには SQL Server Standard または Enterprise の以下の Version が使用できます。それよりも古い Version は Microsoft 社のサポートが終了しているため、お勧めしません。

- SQL Server 2022
- SQL Server 2019

以下の手順でアップグレードします。

1. SQL データベースのバックアップ（p5）がされており、ログインしているユーザーがないことを確認します。
2. Administrator 権限にて Windows のスタートメニューから SQL Server Management Studio を立ち上げ、Database server に接続します。
3. **Biacore Insight Network Database Script 2.3.1.21.sql** を Open し、プルダウンから Biacore 用に作成された Database を選択し、**Execute** をクリックして実行します。



4. Database recovery model を聞かれたら Full を選択します。

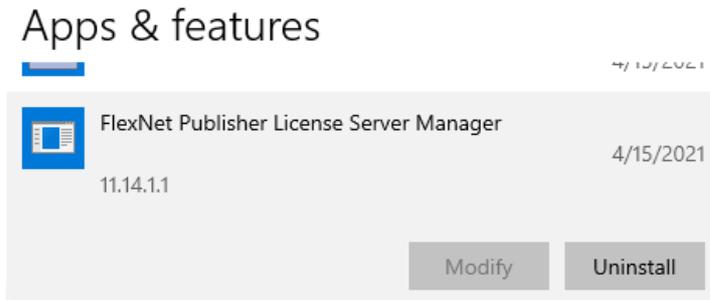
8. eLicensing manager のアンインストール

Version 3.x 以前からアップグレードしていただく方のみ実施します。

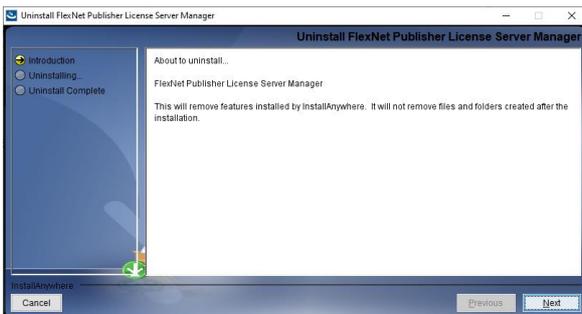
Version 4.x 以降の方は 10 へ進みます。

インストールの前に、既存の eLicensing manager をアンインストールします。

1. 画面左下の Windows ロゴアイコン > Settings（歯車のアイコン） > Apps を選択
2. FlexNet Publisher License Server Manager を選択し、Uninstall をクリック



以下の Window が立ち上がりますが、Do you want to save log files and server .xml files? には Yes save the files を、Do you want to stop and remove the service lmadmin にはチェックを入れて Uninstall を実行してください。Enter the path to save the files では適切なフォルダを選択してください。その後、指示に従い PC を再起動してください。



9. eLicensing Manager のインストールおよびライセンスのアクティベーション

Version 3.x 以前からアップグレードしていただく方のみ実施します。

Version 4.x 以降の方は **10** へ進みます。

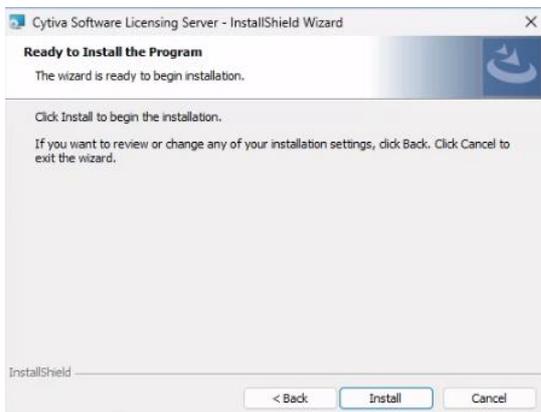
1. Cytiva Software Licensing Server Setup.exe を実行します。**Next >**



2. License agreement に同意します。**Next >**



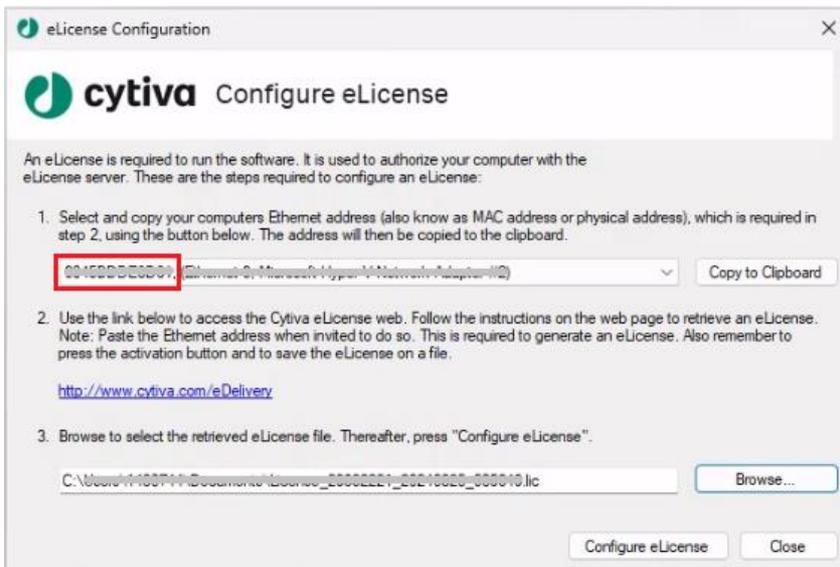
3. **Install** してください。



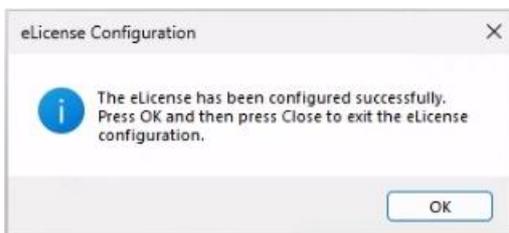
4. **Configure e-license after software installation** にチェックを入れ、**Finish** してください。



5. Configure e-License ウィンドウ（下図）で赤枠の部分に記載されている Ethernet MAC アドレスが今回ライセンスを activation する PC（通常は装置本体と接続された PC）のものであるかご確認ください。また、2の項目は無視して 3.にて弊社から送付された新しい.lic ファイルを **Browse...**から選択して、**Configure eLicense** で適用してください。



6. **OK** に続いて、eLisence Configuration を **Close** してください。



10. ソフトウェアのインストール

ダウンロードした各種ソフトウェアのうち、Biacore™ Insight Evaluation Software 6.0 および Biacore™ 8K Control Software 6.0 をインストールします。* 旧 Version のアンインストールは必要ありません。

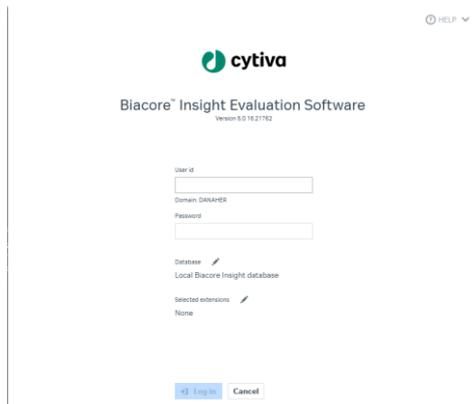
1. Biacore Insight Evaluation Software Setup 6.0.7.1750.exe の実行
2. Biacore Insight Control Software Setup 6.0.7.1750.exe の実行

* Biacore™ T200/S200 をご使用の場合、Biacore Insight Control Software に関してはインストール不要です。ただしテンプレートとして入っている Method が参考にできるかもしれませんのでご導入いただいても結構です。

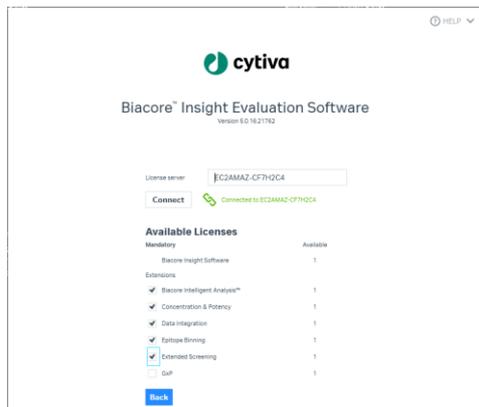
11. Biacore™ Insight Evaluation Software の Database への接続および起動

最後に Insight を起動して Database へ接続すれば完了です。

1. Insight を起動します。
2. Selected Extensions 右のペンアイコンをクリックします。

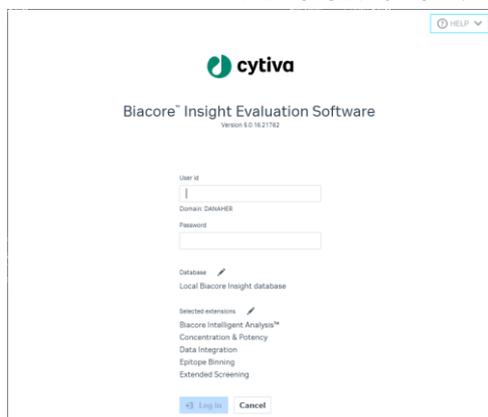


3. License server には、eLicensing Manager をインストールした PC 名またはサーバ名を入力し、Connect をクリックします。緑色で Connected to PC 名（サーバ名）の表示になります。アクティブにしたい Extensions をチェックし、Close をクリックします。



* PC 名（Device name）は、Windows スタートメニュー > Settings（歯車のアイコン） > System > About から確認できます。

4. User id と Password を入力してログインします。



Cytiva

グローバルライフサイエンステクノロジーズジャパン株式会社

バイオダイレクトライン TEL : 03-5331-9336

E-mail : tech-jp@cytiva.com